

単位数	2	履修学年	1 年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書	MOUSA 1（教育芸術社）				
学習の目標	音楽の幅広い体験を通して、音楽のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、音楽の楽しさに触れさせる。		授業の概要	中学校で学習した内容の復習をしながら授業を進める。歌唱・器楽・創作及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。	
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	歌唱 ・校歌 ・ひまわりの約束 ・世界に一つだけの花 ・イタリア歌曲 - 他 （音楽理論）			・合唱を通して、ハーモニーの美しさと、歌うことの楽しさや喜びを感じながら、正しい発声方法を学び、音楽を創り上げていく喜びを味わう。 ・リズム・音程・フレーズ等について正しく理解する。 *既習曲の中から任意の曲を一曲選び、実技テストを行う。	
2 学期	器楽(リコーダー) ・スケール ・威風堂々 ・木星 ・リベルタンゴ ・夏の思い出 ・シチリアーナ ・いつも何度でも - 他			・基礎練習を通して、正しい運指について理解する。 ・リコーダーアンサンブルを通して、ハーモニーの美しさと、演奏する楽しさを感じ取り、協力して音楽を創りあげていく喜びを味わう。 *既習曲の中から任意の曲を一曲選び、実技テストを行う。	
3 学期	鑑賞 ・演奏形態 ・モーツァルト ・ベートーヴェン ・ムソルグスキー - 他			・バロックから現代まで、音楽史に沿って幅広く音楽鑑賞するとともに、各音楽家の生きた時代の文化や人生についても理解を深める。 *西洋音楽史に関する筆記試験を行う。	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	音楽を形づくっている要素を知覚し、思いや意図を持って、創造的な音楽表現をする。			・実技試験 ・学期末に行う確認テスト ・ワークシート ・グループワーク ・発表資料
	思考・判断・表現	自己の解釈やイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現する。			
	主体的に学習に取り組む態度	歌詞や音程の確認、楽器の指使い等について、授業で学んだことを復習したり、自主的に練習を行ったりすることで、技術の定着を図ろうとしている。			
学習アドバイス	○授業の取組 中学校音楽で学習した表現や鑑賞の知識・能力を更に伸ばしていくことを目標にしています。したがって、今まで以上に意欲をもって授業に臨むことが大切です。また、音楽のよさや美しさを深く味わうために、教科書に掲載してある様々な作曲家の作品についても理解しようと努める必要があります。幅広い音楽の世界に興味・関心をもって取り組みましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 歌詞や音程の確認、楽器の指使い等について、授業で学んだことを復習したり、自主的に練習を行ったりすることで、技術の定着を図りましょう。				

SYLLABUS (音楽Ⅱ)

単位数	2	履修学年	2 年	履修学科	普通科Ⅰ型・Ⅱ型（文系）
使用教科書		MOUSA 2（教育芸術社）			
学習の目標	音楽の幅広い体験を通して、音楽のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、音楽文化についての理解を深める。			授業の概要	音楽Ⅰで学習した内容の復習をしながら授業を進める。歌唱・器楽・創作及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	器楽（ギター） ・音階練習 ・実技テスト 歌唱 ・瑠璃色の地球 ・糸 ・Tomorrow ・いつも何度でも ・実技テスト			・運指・音階等の基本練習をしっかりと行います。 ・二部合唱を通して、ハーモニーの美しさと、歌うことの楽しさや喜びを感じながら、正しい発声方法を学び、音楽を創り上げていく喜びを味わいます。 ・リズム・音程・フレーズ等について正しく理解します。 *既習曲の中から任意の曲を一曲選び、実技テストを行う。	
2 学期	「なごり雪」「Summer」等 ・コード練習 ・全体練習 ・個人練習 ・個別指導 ・採譜 ・実技テスト			・個人練習と個別指導を中心に、より積極的に学習する。 ・中間発表を通じて、お互いの仕上がり状況を確認するとともに、期末考査に向けて、更に積極的に取り組む姿勢を養う。 *「なごり雪」を弾き語りの課題曲として、全体練習、個人練習、個別指導を行い、期末考査は実技テストを行う。	
3 学期	創作 ・カップミュージック ・発表 鑑賞（舞台芸術） ・椿姫 等			・カップや体を使った楽曲を作る学習に取り組みます。 ・リズムやテンポ、拍や拍子を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感じながら、音楽表現を工夫し、創作の技能を身に付けます。 ・文学作品や音楽作品に触れ、作曲家が生きていた時代の文化や人生について理解を深めます。 *学年末考査は筆記テストを行います。	
評 価	観 点	評価の観点の趣旨			評価項目
	知識・技能	音楽の幅広い活動を通して、音楽を愛好し、音や音楽に対する興味・関心を持ち、意欲的に活動しようとする。			・授業中の諸活動プリント ・実技試験 ・筆記試験 ・課題
	思考・判断・表現	感性を働かせて音楽の諸要素を知覚し、音楽のよさや美しさを感じ取り、創造的な音楽活動の工夫をする。自己のイメージを表現するための技能を身に付け、それを生かして創造的に表現する。			
	主体的に学習に取り組む態度	多様な音楽の構成要素を感じ取り、歴史的背景とともに音楽の理解を深め、創造的に鑑賞する。			
学習アドバイス	○授業の取組 1 年次に身に付けた発声法等の表現や、鑑賞の知識・能力を更に伸ばしていくことを目標にしています。したがって、今まで以上に意欲をもって授業に臨むことが大切です。また、音楽のよさや美しさを深く味わうために、積極的に世界の様々な音楽様式や、音楽史上の偉大な作曲家の作品についても鑑賞し、意欲的に理解しようと努めましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 歌唱や器楽は繰り返し練習することが大切です。家庭でも練習するようにしましょう。また、創作に関するアイデアを集めたり、自主的に鑑賞を行ったりして、予習・復習をしてください。				

SYLLABUS (美術Ⅰ)

単位数	2	履修学年	1 年	履修学科	普通科・工業科
使用教科書		美術 1（光村図書）			
学習の目標	美術の幅広い創造活動を通して、美術のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、美術の楽しさに触れる。			授業の概要	中学校で学習した内容の復習をしながら、授業を進める。絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。
学 習 計 画					
	項目及び内容			到達目標及び学習のポイント	
1 学期	絵画 デザイン			○絵画表現の基礎を理解し、線による表現ができる。 ○デザインの基礎を理解できる。 ・形や色彩の効果を意識し、目的にあった作品制作ができる。	
	絵画			○身近にあるものを見つめ直し、描く方法や材料を工夫してあらわすことができる。	
	鑑賞				
2 学期	映像メディア表現			○映像メディアの特性を生かして、表現を創意工夫できる。	
	デザイン			○消しゴムや彫刻刀の特性を理解し、表現方法を創意工夫できる。	
	彫刻			○粘土の特性を生かし、立体的な表現ができる。 ・様々な角度から作品を見つめ、量感のある作品を制作する。	
	鑑賞				
3 学期	映像メディア表現 鑑賞			○映像表現の特性を活用し、視点の流れや動きなど、視覚的な要素の働きについて考え、表現することができる。 ・映像表現の視覚的な働きについて考える。 ・場面のつなげ方やカットについて理解する。	
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能		基礎的な知識を理解し、基本的な技能を身に付け、表現方法を創意工夫している。		・授業作品 ・授業中の諸活動 ・プリント ・課題
	思考・判断・表現		豊かに思考し、自身の考えるよさや美しさがどのようなものか判断し、想像的・機能的で個性豊かな表現している。		
	主体的に学習に取り組む態度		美術Ⅰの学習に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。		
学習アドバイス	○授業の取組 中学校美術で学習した表現や鑑賞の知識・能力を更に伸ばしていくことを目標にしています。道具の使い方や絵の特性など、基礎的な技術をしっかりと身に付け、粘り強く製作に取り組み、作品に生かしていく力が必要です。また、他者の作品や教科書を用いて作品鑑賞を行い、美術のよさや美しさを深く味わっていきます。美術で学習したことを生かし、作品作りだけではなく、自身の生活を豊かにしていく力を養っていきます。				
	○家庭学習（予習・復習） 予習・復習をするなど、日常的に美術作品に触れましょう。予習・復習だけでなく、日常的に美術作品に触れて鑑賞することは、形の捉え方や構図の取り方、色の使い方など自らの感性を磨くことになり、授業での制作に役立ちます。				

SYLLABUS (美術Ⅱ)

単位数	2	履修学年	2 年	履修学科	普通科 I 型
使用教科書		美術 2（光村図書）			
学習の目標	美術の創造的な諸活動を通して、美術のよさや美しさに対する理解を深め、表現技術を高めながら、美術の楽しさに触れる。		授業の概要	美術 I で学習した内容を確認しながら授業を進める。絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現及び鑑賞について、基礎的理解や表現力の向上を目指す。	
学 習 計 画					
	項目及び内容		到達目標及び学習のポイント		
1 学期	絵画 デザイン 鑑賞		○絵画表現の基礎を理解し、鉛筆による表現ができる。 ○色の効果を理解し、構図を工夫して、意図を伝えるための工夫ができる。 ・構図の取り方、色の使い方を理解する。 ・画面構成や効果的な色彩配置を考える。		
2 学期	絵画 彫刻 鑑賞		○感じとったことや考えたことなどから主題を生成し、表現形式の特性を生かすことができる。 ○材料や用具の特性を生かして、表現方法を創意工夫できる。		
3 学期	映像メディア表現 鑑賞		○映像表現の特性を活用し、視点の流れや動きなど、視覚的な要素の働きについて考え、表現することができる。 ・映像表現による視覚的な働きについて考える。 ・場面のつなげ方やカットについて理解する。		
評価	観 点		評価の観点の趣旨		評価項目
	知識・技能		基本的な技能を身に着け、表現方法を創意工夫している。		・授業作品 ・授業中の諸活動 ・プリント ・課題
	思考・判断・表現		豊かに発想し、よさや美しさなどを考え、創造的・機能的で個性豊かな表現の構想を練っている。		
	主体的に学習に取り組む態度		美術Ⅱの学習に関心を持ち、意欲的に表現や鑑賞の活動に取り組もうとしている。		
学習アドバイス	○授業の取組 これまで学習した表現や鑑賞の知識・能力を更に伸ばしていくことを目標にしています。様々な技法を体験しながら、それらを効果的に用いる力が必要です。また、美術のよさや美しさを深く味わうために作品鑑賞を行い、思考を言語化して自らの創造の幅を広げていくことを目指しています。そのため、主体的に授業に臨むことが大切になってきます。その経験や知識を生かし、自己表現を行うとともに、生活を豊かにしていく力を身につけましょう。 ○家庭学習（予習・復習） 予習・復習をするなど、日常的に美術作品に触れましょう。授業だけでなく、日常的に美術作品に触れて鑑賞することは、形の捉え方や構図の取り方、色の使い方、アイデアの発想など自らの感性を磨くことになり、より良い作品制作に繋がります。				